

三菱重工グループは、
ものづくり企業として
技術と情熱で、たしかな未来を
提供していきます。

目指す姿
2017年度以降

事業規模 ▶ 5.0兆円
ROE ▶ 12.0%

2014年度
(見通し)

事業規模 ▶ 4.0兆円
ROE ▶ 8.2%

2013年度
(実績)

事業規模 ▶ 3.3兆円
ROE ▶ 11.0%

2010年度
(実績)

事業規模 ▶ 2.9兆円
ROE ▶ 2.4%

2010事業計画

2012事業計画

次期事業計画以降

 **三菱重工**

この星に、たしかな未来を

発行目的

三菱重工グループは、その存在価値を、「この星に、たしかな未来を」というCI (Corporate Identity) ステートメントとして掲げ、「地球と人類のサステナビリティ (持続可能性) に対し、人々に感動を与えるような技術と、ものづくりへの情熱によって、安心・安全で豊かな生活を営むことができるたしかな未来を提供していく」という強い意志をもって経営を推進しています。

この理念を株主・投資家やさまざまなステークホルダーの皆さまにご理解いただくため、2014年3月期 (2013年度) より、経営戦略や業績などの財務要因と、当社グループと環境や社会との関係性などの非財務要因を一体的に伝える統合レポートとして、本レポートを発行いたしました。

表紙の画像

H-IIAロケットの燃料タンク部分の製造現場 (愛知県・名古屋航空宇宙システム製作所)

目次

2	三菱重工の 価値創造	2 三菱重工の理念	
		4 取締役および監査役	
		6 価値創造モデル	
		14 財務・非財務ハイライト	
16	企業価値 向上のための戦略	16 社長インタビュー	 
		22 CFOインタビュー	
		24 重要な社会的課題の特定方針	
26	企業価値 向上の取り組み	26 セグメント別営業概況	
		42 知的財産活動・研究開発	
		46 コーポレート・ガバナンス	
52	会社概要／海外地域拠点会社／海外事務所・室		
別冊 財務セクション			

情報開示の体系

MHIレポートには、当社をご理解いただくために重要な情報を集約して掲載しています。より詳細な情報はウェブサイトに掲載しています。



参考にしたガイドライン

国際統合報告評議会 (IIRC) ▶「国際統合報告フレームワーク」
 グローバル・リポーティング・イニシアティブ (GRI)
 ▶「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン (第4版 [G4])」
 環境省 ▶「環境報告ガイドライン (2012年版)」

詳細な財務情報については、有価証券報告書をご覧ください。

 <http://www.mhi.co.jp/finance/library/financial/index.html>

詳細なCSR情報については、ウェブサイトの「CSRへの取り組み」をご覧ください。

 <http://www.mhi.co.jp/csr/index.html>

将来の見通しに関する注意

本レポートのうち、業績見通しなどに記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、これらの業績見通しのみに基づいて投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。実際の業績はさまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。